

総領事館便り 6 月号

★国立ブラウィジャヤ大学での神輿パフォーマンス

5月18日、東ジャワ州マラン市にある国立ブラウィジャヤ大学で行われた日本文化イベントの一環として、ジャカルタ神輿連から昨年寄贈された神輿を学生が担いでキャンパスの中を練り歩きました。ジャカルタ神輿連はジャカルタ日本祭り（JJM）で活躍しており、在スラバヤ日本国総領事館からの推薦を受け同大学への寄贈が実現しました。イベント当日は、ジャカルタ神輿連のメンバーが学生に担ぎ方のレクチャーを行いました。広いキャンパスに神輿を担ぐ学生のセイヤーのかけ声が響くとともに、観客からも大きな歓声が上がりました。同大学では、約1,000名の学生が日本語や日本文化を熱心に学んでいます。



★着任の御挨拶

●平松 洋司 副領事

このたび、5月14日付で在スラバヤ日本国総領事館に経済担当として着任いたしました平松洋司と申します。今年3月まではジャカルタの国際協力機構（JICA）事務所にて民間連携を担当しておりました。

インドネシアは、豊富な人口や広大な国土、そして多様な資源に恵まれ、更なる経済成長ポテンシャルを有し、また温かく親しみやすい国民性から、日系企業にとって非常に魅力的な国です。一方で、外資規制の厳しさや頻繁に変更される不透明な法規制など、企業活動においては依然として課題となる側面もあるかと存じます。

ここ東ジャワ州スラバヤは国内第二の都市であり、この地域の交易の要衝として発展してきました。日系企業の皆様も早くからこの地でご活躍されています。

現地の方にスラバヤはどのような街か伺ってみたところ、「様々な文化が入り混じる多様性の都市」と表現されていました。そんな日本との関係が深く、また魅力溢れる東ジャワ、スラバヤを学びつつ、微力ながら日本・インドネシアの両国間の架け橋となる様、努めて参りますので今後とも宜しくお願い申し上げます。

（以上）